

神戸学院大学 第3次中期行動計画 中期計画（第3層） 2023年度達成度評価表 分野：大学運営

		評価	理由
中期目標	学長のリーダーシップの下で、効率的で機動的な大学運営を行います。		
中期計画	1 内部質保証システムの機能的有効性の向上	B	2022年度に策定した「神戸学院大学内部質保証に関する方針」及び「神戸学院大学内部質保証体制図」のもと、初年度の課題をふまえて内部質保証をさらに機能させるための取り組みを実施できている。2023年度は方針、体制、規則の見直しを行い、改善を図ったほか、認証評価受審に向けた取り組みを通じて、学内周知や継続的な運用にかかる具体的な方策についても検討し、改善可能な点から実施することができた点は評価できる。なお、一部の部署において、第3次中期行動計画策定時に明記すべき事項が計画に明記されておらず、所管業務全体及び部署目標全般によるPDCAが確認できない、また部署ごとに情報共有の程度や進捗状況が異なるなどの問題があるため、改善が必要である。2024年度は、認証評価受審にかかる業務を円滑に実施するとともに、明らかになった本学の課題・問題点の改善に向けた取り組みを適切かつ継続的に行うことが望まれる。
中期計画	2 効率的な組織運営	B	各学部・研究科において、教員組織の編制方針に基づき、昇任・採用等が実施できしており、また必要に応じた見直しもできている。事務組織については、法人業務一元化に向けた取り組みの一つとして、同一法人内での配置転換にかかる準備が進み、2024年度より実現する見込みである点は評価できる。今後も、教員組織・事務組織ともに適切性の検証を行い、最適化を図ることが望まれる。特に、事務組織においては、改編及び人員配置には制限があるものの、2024年度以降も不断の見直しが行われることを期待する。

中期計画	3 戦略的広報活動の推進	B	<p>ホームページ、電車内額面ポスター、広告ギャラリー、學報.netやクロスメディア広告で、学生の活躍や教員の教育・研究内容を紹介し、本学での学びや教員の活動などを広く発信することができた。加えて、SNS（Facebook、Instagram、YouTube等）を活用することで、ホームページでは紹介しきれなかった情報をタイムリーに発信できた。また、志願者数の増加に向け、オープンキャンパスのプログラムの見直しを図り、受験生の保護者への学生支援・キャリア支援に関する説明の機会を新たに設けることで、本学のアピールにつなげることができた。学生広報サポーターや学生オープンキャンパス・スタッフ「オーキャンズ」といった学生による受験生目線の広報活動も積極的にできており、評価できる。今後も、より一層、受験生確保やブランド力向上に向けた取り組みの推進が望まれる。</p>
中期計画	4 SDの推進	B	<p>「神戸学院大学におけるスタッフ・ディベロップメント（SD）実施に関する基本方針」に基づき、計画的にSD活動（研修）を実施できている。大学全体のSD実施計画策定、前年度のSD実施効果検証も問題なく進められており、評価できる。今後は、SDの意義や必要性について、全学部・研究科・部署において理解を深めるとともに、学内周知を徹底し、より効果的なSDを実施していくことが望まれる。</p>
中期計画	5 男女共同参画の推進	B	<p>第2次男女共同参画推進計画（2023-2027）に基づく男女共同参画の推進に向けて、全学的に環境整備を着実に進めることができてきている。男女共同参画ニュースを通じて、学内外に活動を定期的に公表できている点は評価できる。女性教員比率、女性上位職比率、女性管理職比率の向上に向けて、各学部・研究科・センター・部署で目標を設定して努力を重ねているが、目標に届いていない部分もあり、さらなる努力が望まれる。学内の啓発活動は、男女共同参画推進室を中心に、学長カフェやジェンダー卒論発表会等、多岐にわたるイベントの実施、ニュースレターの発行、ホームページの活用等により、活発に実施している点は評価できる。今後も、生活環境の変化に応じた男女共同参画推進事業のあり方について検討を重ね、誰もが学びやすく働きやすい環境の整備を一層進めることを期待する。</p>

	<p>中期計画 6 安全で快適なキャンパス環境の整備</p>		<p>B</p>	<p>全学的に実施している学生アンケートを通じた学生の意見に基づき、ネットワーク環境の改善、食堂やトイレなどの学内施設・設備の改修を行い、学内環境の整備を進めることができている。あわせて、学生の安全性、快適性、利便性の向上に関する事項については、大学のキャンパス整備基本計画と照らし合わせながら進めることができている。また、防火・防災にかかる諸訓練や意識啓発活動も継続して実施しており、訓練の内容についても、より実践的となるような工夫ができている。今後も、学生及び教職員にとって、より安全で快適なキャンパス環境になるよう整備を推進することが望まれる。</p>
	<p>中期計画 7 教育後援会・同窓会との連携推進</p>		<p>B</p>	<p>教育後援会・同窓会ともに積極的な情報共有や意見交換により、連携強化を図ることができている。教育後援会においては保護者ポータルを活用やMicrosoft Forms及びWebフォームによる大学見学会のアンケート実施、同窓会においては「産業界等連携講義」や「OB・OGキャリアデザイン塾」等への学生の参加やホームページのリニューアルにより、それぞれ新たな取り組みを推進しており、評価できる。また、学長・副学長等と同窓会との懇談会を開催し、より良い事業活動の展開に向けて、有意義な議論ができている。今後も、教育後援会・同窓会との互助関係を強化し、それぞれのニーズに応じた活動の充実や活性化を期待する。</p>

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る